

平成 17 年度 事業報告書 目次

I . 法人の概要について	1 ~ 4
1 . 学校法人の所在地	
2 . 設置する学校・学部・学科等の名称及び定員等	
3 . 附属研究所及び病院	
4 . 役員・評議員・教職員の概要	
5 . 建学の精神、教育目標	
6 . 沿革	
II . 事業の概要について	5 ~ 7
1 . 事業の概要	
2 . 事業計画の進捗状況	
3 . 入試に関する事項（志願者・入学者数）及び卒業・修了の状況	
III . 財務の概要について	8 ~ 15
1 . 平成 17 年度決算の概要	
2 . 平成 17 年度の主要な財務比率	
3 . 財務の概要の経年比較（過去 5 年間）	
4 . 主な施設設備の整備状況	

I 法人の概要について

1. 学校法人の所在地

石川県河北郡内灘町字大学1丁目1番地

2. 設置する学校・学部・学科等の名称及び定員等

平成17年度末において、本法人が設置する学校・学部・学科等は下記のとおりであります。

金沢医科大学大学院は、平成15年4月から従来の5専攻（生理系専攻・病理系専攻・内科系専攻・外科系専攻・社会医学系専攻）から1専攻（生命医科学系専攻）に改組したことから、従来の5専攻は、平成15年4月から学生募集停止してきましたが、今年度在籍学生がいなくなることから、平成18年3月31日付けで廃止しました。

（単位：人）

名 称	学 部	学科等	入学定員	入学者数	収容定員	学生数
金沢医科大学	医学部	医学科	100	100	600	641
金沢医科大学大学院	医学研究科	生理系専攻	－	－	6	0
		病理系専攻	－	－	4	1
		社会医学系専攻	－	－	3	0
		内科系専攻	－	－	10	12
		外科系専攻	－	－	12	13
		生命医科学系専攻	35	12	105	42
		大学院計	35	12	140	68
看護専門学校	看護専門課程		60	54	180	180
合 計			195	166	920	889

※学生数は、平成17年5月1日現在

※大学院は、平成15年4月に従来の5専攻から1専攻に改組しました。

3. 附属研究所及び病院

名 称	所 在 地
金沢医科大学総合医学研究所	石川県河北郡内灘町字大学1丁目1番地
金沢医科大学病院	石川県河北郡内灘町字大学1丁目1番地

4 . 役員・評議員・教職員の概要

役員・評議員・教職員の概要は、次のとおりであります。

(平成17年5月1日現在)

【役員】

理事長	小田島 肅 夫	
副理事長	山 下 公 一	
理事(学長)	山 本 達	
理事(病院長)	高 島 茂 樹	
副理事長	竹 越 襄	
理 事	東 田 紀 彦	
理 事	松 本 静 夫	
理 事	大 田 修	
理 事	國 府 克 己	
理 事	伊 藤 博	
理 事	奥 名 洋 明	
理 事	久 藤 豊 治	
理 事	澁 谷 亮 治	
理 事	飛 田 秀 一	以上 理事 14名
監 事	水 株 正 紀	
監 事	中 村 行 男	
監 事	米 沢 寛	以上 監事 3名

【評議員】

評 議 員	大 山 充 徳 他	合計 41名
-------	-----------	--------

【教職員】

教 員 (単位：人)

区 分	法 人	大 学	看 学	病 院	合 計
学 (校) 長	0	1	0	0	1
副学 (校) 長	0	2	0	0	2
教授	0	60	0	1	61
助教授	0	52	0	1	53
講師	0	68	1	2	71
助手	0	23	9	186	218
本務教員合計	0	206	10	190	406
非常勤教員	0	179	0	0	179

職 員

(単位：人)

区 分	法 人	大 学	看 学	病 院	合 計
事務系	8	114	3	90	215
教務系	0	69	0	0	69
厚生補導系	0	4	0	0	4
技術技能系	1	30	0	29	60
医療系	0	0	0	893	893
その他	0	5	1	166	172
本務職員合計	9	222	4	1,178	1,413
兼務	0	0	0	67	67

5 . 建学の精神、教育目標

(1) 建学の精神

◇良医を育てる

倫理に徹した人間性豊かな良医を育成する

◇知識と技術をきわめる

医学の深奥をきわめ優れた医療技術を開拓する

◇社会に貢献する

生命の尊厳を基調とし人類社会の医療と福祉に貢献する

(2) 教育目標

本学の教育の基本目標は建学の精神に述べている「人間性豊かな良医の育成」にある。

「良医」とは、「常に患者の立場に立って考え、個々の患者に最も適した医療を提供できる、そして、それを可能とする知識と技術に精通した医師」である。本学の6年間の卒前一貫教育、それに続く卒後初期臨床研修、専門医研修、そして大学院においては、まず医師としての人間形成を基本においたうえで、知的好奇心を育み、問題に立脚した解決能力を磨き、急速に進歩する医学に対応して生涯にわたって自己研修を行って未来を開拓していくことができる能力を獲得することを常に基本目標におき、良医育成のためのカリキュラムを展開している。

6 . 沿革

昭和47年	3月30日	学校法人金沢医科大学認可
昭和47年	6月1日	金沢医科大学開学
昭和48年	4月1日	金沢医科大学附属看護学校開校
昭和49年	9月1日	金沢医科大学病院開院
昭和50年	7月1日	金沢医科大学歯学研究所開設
昭和57年	4月1日	大学院医学研究科設置
昭和58年	4月1日	熱帯医学研究所開設 人類遺伝学研究所開設
昭和62年	2月10日	金沢医科大学病院別館オープン
	3月31日	金沢医科大学歯学研究所廃止
昭和63年	4月1日	金沢医科大学附属看護学校が附属専門学校に昇格
平成元年	4月1日	総合医学研究所開設 (人類遺伝学研究所、熱帯医学研究所、共同研究室を統合)
平成6年	3月24日	厚生省から特定機能病院に承認
平成12年	10月1日	電子カルテ全科実施
平成15年	4月1日	財団法人大学基準協会「正会員」加盟・登録承認 大学院医学研究科生命医科学専攻開設
	8月31日	病院新館竣工
平成16年	4月1日	医学部講座組織の改組
平成17年	3月1日	21世紀集学的医療センター設置

Ⅱ 事業の概要について

平成17年度の主な事業は、下記のとおりであります。

1. 事業の概要

- (1) 医学教育センターの設置
- (2) 学生寮・看護師宿舎の建設
- (3) 総合医学研究所の移転・整備
- (4) 国際交流20周年記念事業の実施
- (5) 21世紀集学的医療センター
- (6) 病院第二期整備事業
- (7) 病院機能評価受審準備
- (8) 役員改選
- (9) 看護学部設置準備
- (10) 金沢医科大学病院・先端医療なるほど図鑑の出版
- (11) 病院の理念と基本方針の更新
- (12) 寄附行為変更認可

2. 事業の進捗状況

- (1) 医学教育センターの設置
医学教育センターは、4月から病院本館3階の旧ICU・CCUを改修してスタートしました。当センターは本学の最良の医学教育システムの確立及び最良の教育内容と質の確保を図っていくこととなります。
- (2) 学生寮・看護師宿舎の建設
入学志願者及び看護師の確保対策として、学生寮及び看護師宿舎の建設を計画しましたが、平成17年度においては、計画段階までであり、引き続き慎重な計画を検討し、建設に向けて推進していきます。
- (3) 総合医学研究所の移転・整備
総合医学研究所の移転は、11月下旬に改修工事をスタートし、平成18年1月中旬に一部竣工、1月16日・17日並びに2月1日・2日に移転、3月に改修工事が行われ、3月最後の週に竣工し、総合医学研究所を中心とした医学部3教室を含む一連の総合移転計画が完了しました。
- (4) 国際交流20周年記念事業の実施
国際交流20周年記念事業は、9月10日、記念式典・記念講演会及び祝賀会を実施しました。
- (5) 21世紀集学的医療センター
集学的がん治療センターは、4月から診療を開始していますが、10月1日から病院本館2階の旧内科外来診察室一帯を改修し、新たに集学的がん治療センター、生活習慣病センターを核に診療を開始しました。

(6) 病院第二期整備事業

病院本館と病院新館をつなぐ連絡廊下は、11月4日供用を開始しました。
病院第二新館建設は、12月26日に起工式が行われ、工期は平成18年1月から12ヶ月間で、12月に竣工する予定であります。

(7) 病院機能評価受審準備

特定機能病院としての外部評価の向上を目的として、病院機能評価受審準備を進めており、平成18年4月受審の申請、11月訪問審査を受ける予定であります。

(8) 役員改選

役員、評議員の改選（平成17年4月1日から新執行部スタート）。任期は平成17年4月1日から平成20年3月31日までであります。

(9) 看護学部設置準備

看護学部設置に向け、6月に「看学4大化プロジェクト委員会」が発足し、具体的な検討を開始。9月には「看護学部設置準備室」を設け、更に詳細な基本計画を検討しました。今後、教員確保・申請書類作成などを経て申請に向けて準備を進めています。

(10) 金沢医科大学病院・先端医療なるほど図鑑の出版

8月8日から14日までの7日間、金沢21世紀美術館・市民ギャラリーにおいて、「金沢医科大学病院・先端医療なるほど図鑑」出版事業を行いました。これには、本学病院23診療科と看護部、ソーシャルワーカーが参加し、それに本学医学生と石川県臓器移植財団からの特別参加がありました。

(11) 病院の理念と基本方針の更新

10月から新しい病院の理念と基本方針を定めました。

【病院の理念】

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します。

- 患者さま中心の安全で質の高い医療を提供します。
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します。
- 新しい医療の研究・開発を推進します。
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します。

【病院運営の基本方針】

1. 患者さま中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さま・ご家族への“説明と同意”を徹底します。
4. 高度先進医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

(12) 寄附行為変更認可

寄附行為変更認可（7月25日申請、10月5日認可）。これは、私立学校

法の一部改正（平成１７年４月１日施行）に基づく改正と本学独自の変更をしたものであります。

４．入試に関する事項（志願者数、入学者数）及び卒業・修了の状況

（単位：人）

		入学 定員	志願者数	入学者数	卒業者数 修了者数	備 考
大学院	医学研究科	35	12	12	24	
医学部	医学科	100	2,360	100	93	
看護専門 学校	看護専門課程	60	267	54	62	
合 計		195	2,639	166	179	

Ⅲ 財務の概要について

１．平成１７年度決算の概要

(表１) 消費収支計算書

(▼は比較上の減少を表す)

(単位:百万円)

帰属収入の部	17年度 決 算	16年度 決 算	差 異 -	17年度 予 算	差 異 -	17年度決算 帰属収入比
学生生徒等納付金	4,368	4,248	120	4,261	107	18.2%
手数料	161	123	38	115	46	
寄付金	928	979	▼51	910	18	3.9%
特別寄付金(寄附講座等)	30	106	▼76	50	▼20	
一般寄付金入学時	455	385	70	500	▼45	
一般寄付金その他	433	475	▼42	350	83	
現物寄付金	10	13	▼3	10	0	
補助金	1,247	1,249	▼2	1,355	▼108	5.2%
経常費補助金	1,040	1,082	▼42	1,100	▼60	
文科省設備補助金	93	5	88	100	▼7	
臨床研修費補助金	79	123	▼44	94	▼15	
その他の補助金	35	39	▼4	61	▼26	
資産運用収入	396	113	283	147	249	1.6%
受取利息配当金	312	27	285	60	252	
施設設備利用料	84	86	▼2	87	▼3	
事業収入	201	184	17	172	29	
医療収入	16,676	17,151	▼475	16,862	▼186	69.3%
入院収入	12,627	13,084	▼457	12,852	▼225	(16決算比 2.8%減)
外来収入	4,049	4,067	▼18	4,010	39	
雑収入	86	114	▼28	60	26	
帰属収入の部合計	24,063	24,161	▼98	23,882	181	100.0%
消費支出の部	17年度 決 算	16年度 決 算	差 異 -	17年度 予 算	差 異 -	17年度決算 帰属収入比
人件費	11,188	11,302	▼114	11,395	▼207	46.5%
教員人件費	3,351	3,352	▼1	3,441	▼90	(16年度決 算 46.8%)
職員人件費	7,159	7,097	62	7,164	▼5	
役員報酬	70	69	1	74	▼4	
退職給与引当金繰入額 及び退職金	608	784	▼176	716	▼108	
教育研究経費	1,398	1,297	101	1,399	▼1	5.8%
医療経費	7,983	8,528	▼545	8,148	▼165	33.2%
薬品費	3,385	3,717	▼332	3,709	▼324	(H17 医療収 入比 47.9%)
医療材料費	2,281	2,276	5	2,292	▼11	
給食材料費	252	255	▼3	247	5	(H16 医療収 入比 49.7%)
医療検査費	117	130	▼13	126	▼9	
その他の医療経費	1,948	2,150	▼202	1,774	174	
管理経費	471	414	57	406	65	2.0%
借入金等利息	0	0	0	0	0	
減価償却・資産処分差額	2,459	2,443	16	2,316	143	10.2%
予備費	0	0	0	200	▼200	
消費支出の部合計	23,499	23,984	▼485	23,864	▼365	97.7%
差引正味財産増加額	564	177	387	18	546	2.3%

(表2) 資金収支計算書

(単位:百万円)

資金収入の部	17年度 決 算	16年度 決 算	差 異 -	17年度 予 算	差 異 -
資金を伴う帰属収入	24,053	24,147	▼ 94	23,872	181
帰属収入の部合計	24,063	24,161	▼ 98	23,882	181
非資金収入除外	10	14	4	10	0
資産売却収入	5	3	2	0	5
借入金等収入	561	530	31	500	61
借入金収入	0	0	0	0	0
学校債収入	561	530	31	500	61
前受金収入	4,255	4,215	40	4,050	205
その他の収入	3,145	3,476	▼ 331	4,066	▼ 921
資金収入調整勘定	7,113	6,972	▼ 141	7,215	102
期末未収入金	2,898	2,842	▼ 56	3,000	102
前期末前受金	4,215	4,130	▼ 85	4,215	0
資金収入の部合計	24,906	25,399	▼ 493	25,273	▼ 367
資金支出の部	17年度 決 算	16年度 決 算	差 異 -	17年度 予 算	差 異 -
資金を伴う消費支出	20,841	21,327	▼ 486	21,217	▼ 376
消費支出の部合計	23,499	23,984	▼ 485	23,864	▼ 365
非資金支出除外	2,658	2,657	▼ 1	2,647	▼ 11
借入金等返済支出	592	516	76	466	126
借入金返済支出	72	0	72	24	48
学校債返済支出	520	516	4	442	78
施設関係支出	1,512	80	1,432	2,649	▼ 1,137
設備関係支出	617	611	6	710	▼ 93
資産運用支出	650	3,050	▼ 2,400	550	100
その他の支出	3,087	2,405	682	3,073	14
資金支出調整勘定	2,253	2,784	531	2,200	▼ 53
期末未払金	2,253	2,783	530	2,200	▼ 53
前期末前払金	0	1	1	0	0
資金支出の部合計	25,046	25,205	▼ 159	26,465	▼ 1,419
差引資金収支差額	140	194	▼ 334	1,192	1,052
前年度繰越支払資金	5,426	5,232	194	5,426	0
次年度繰越支払資金	5,286	5,426	▼ 140	4,234	1,052

(△は計算書式上のマイナス値) (▼は比較上の減少を表す)

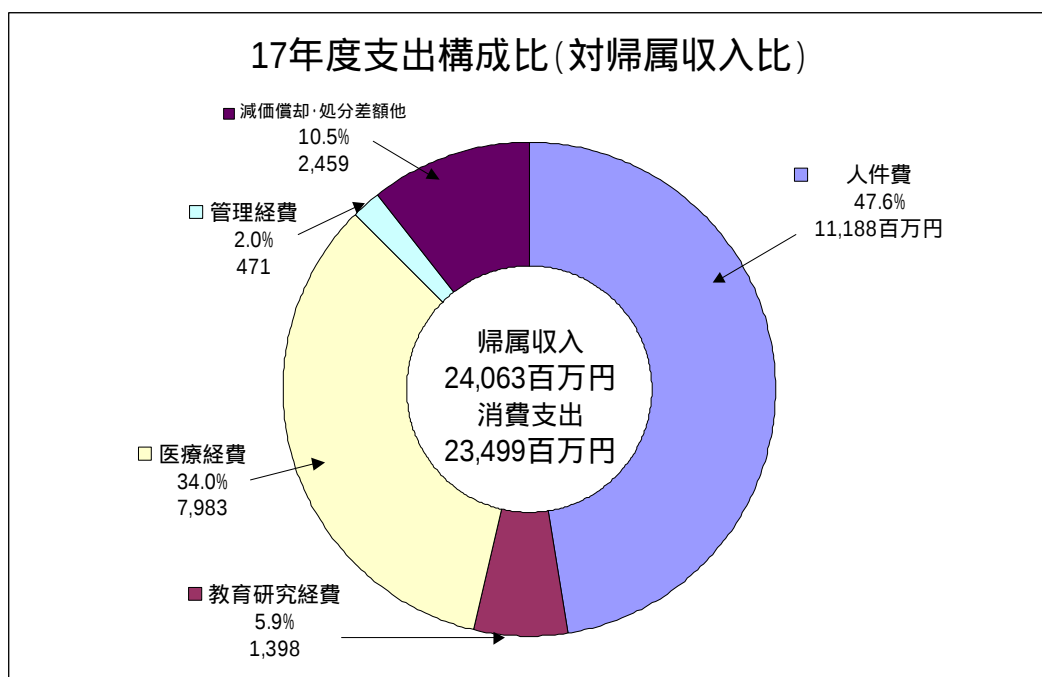
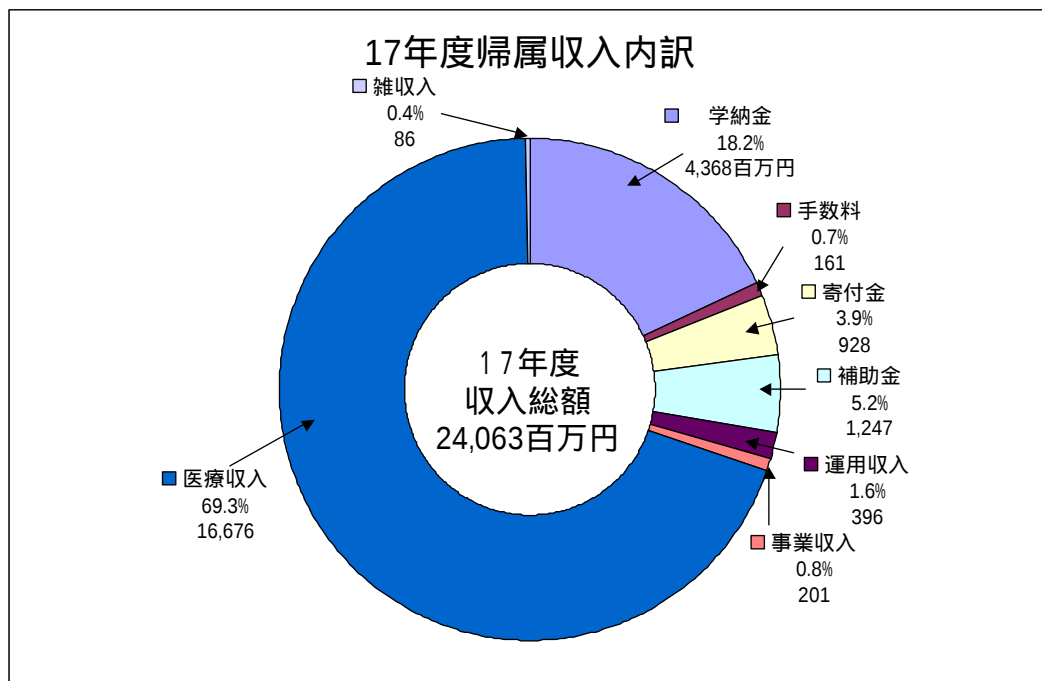
(表3) 貸借対照表

(単位:百万円)

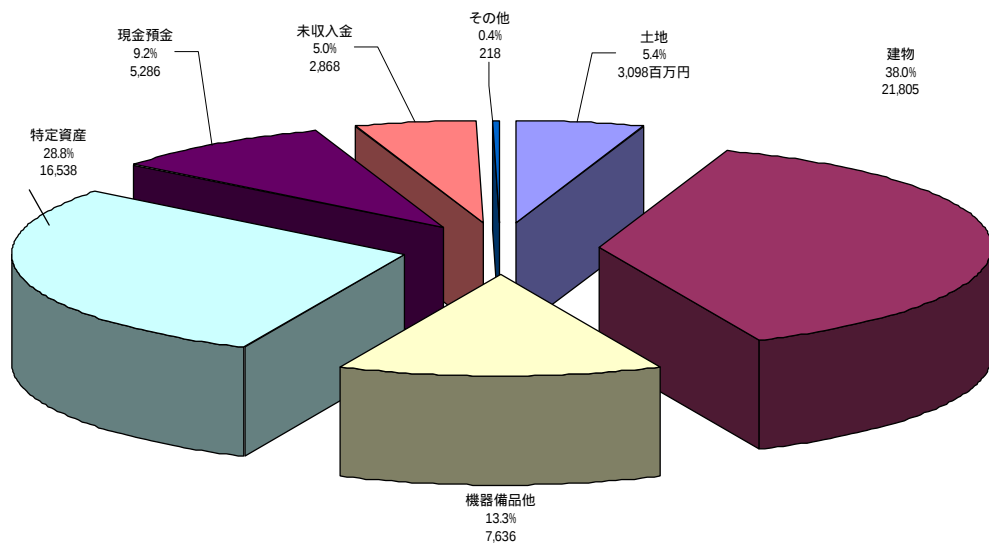
資 産 の 部	17年度 決 算	16年度 決 算	増 減 -	構成比率	
				17年度	16年度
固定資産	49,077	48,721	356	85.4%	85.2%
有形固定資産	32,514	32,808	▼ 294	56.6%	57.4%
土地	3,098	3,098	0		
建物	21,805	22,456	▼ 651		
構築物	820	908	▼ 88		
教育研究用機器備品	4,675	5,059	▼ 384		
その他の機器備品	70	77	▼ 7		
図書	1,196	1,186	10		
車輛	27	20	7		
建設仮勘定	823	4	819		
その他の固定資産	16,563	15,913	650	28.8%	27.8%
電話加入権、施設利用権	13	13	0		
有価証券、出資金	10	10	0		
差入保証金	2	2	0		
退職給与引当特定資産	4,638	4,138	500		
減価償却引当特定資産	9,200	9,200	0		
施設拡充引当特定資産	2,500	2,500	0		
海外交流引当特定資産	100	50	50		
奨学事業引当特定資産	100	0	100		
流動資産	8,372	8,459	▼ 87	14.6%	14.8%
現金預金	5,286	5,426	▼ 140		
未収入金	2,868	2,836	32		
貯蔵品	204	196	8		
前払金、仮払金	14	1	13		
資 産 の 部 合 計	57,449	57,180	269	100.0%	100.0%
負 債 の 部	17年度 決 算	16年度 決 算	増 減 -	構成比率	
				17年度	16年度
固定負債	11,407	11,060	347	19.9%	19.3%
長期借入金	0	48	▼ 48		
学校債	3,963	3,776	187		
退職給与引当金	7,444	7,236	208		
流動負債	7,001	7,643	▼ 642	12.2%	13.4%
短期借入金	0	24	▼ 24		
学校債	185	332	▼ 147		
未払金	2,252	2,783	▼ 531		
前受金	4,255	4,215	40		
預り金、仮受金	309	289	20		
負 債 の 部 合 計	18,408	18,703	▼ 295	32.0%	32.7%
正味財産の部 合計	39,041	38,477	564	68.0%	67.3%
負債及び正味財産の部 合計	57,449	57,180	269	100.0%	100.0%

(▼は比較上の減少を表す)

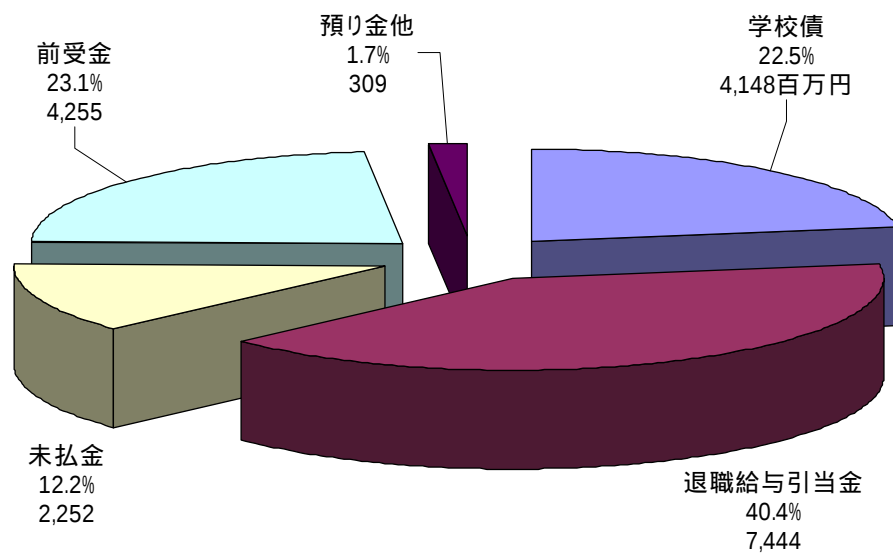
2 . 平成 1 7 年度の主要な財務比率



17年度末 資産内訳（資産総額 57,449百万円）

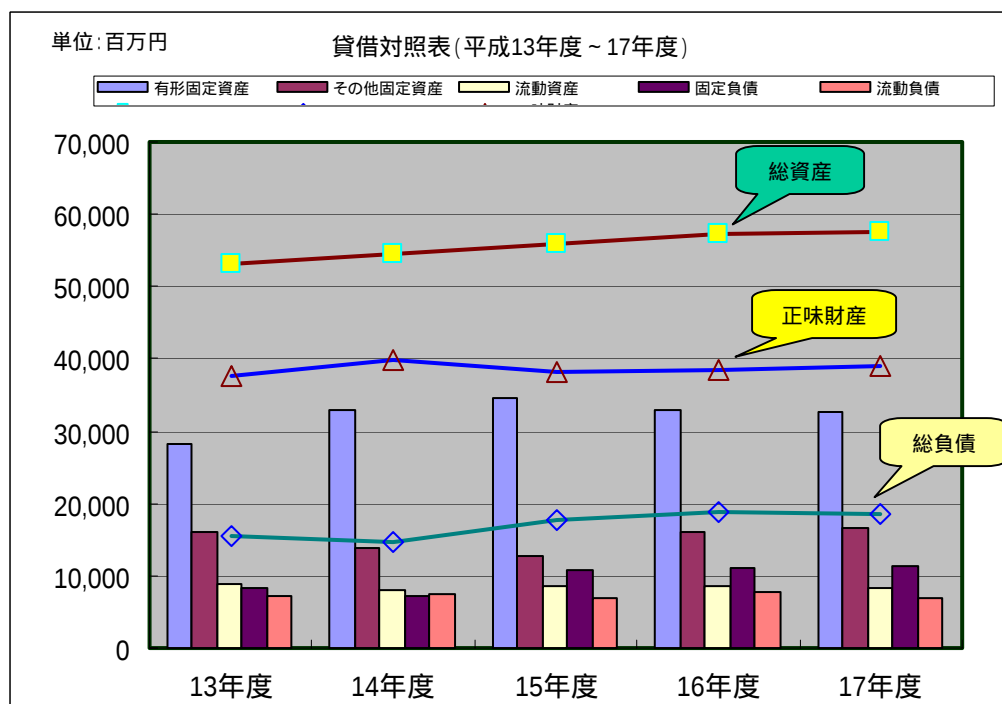
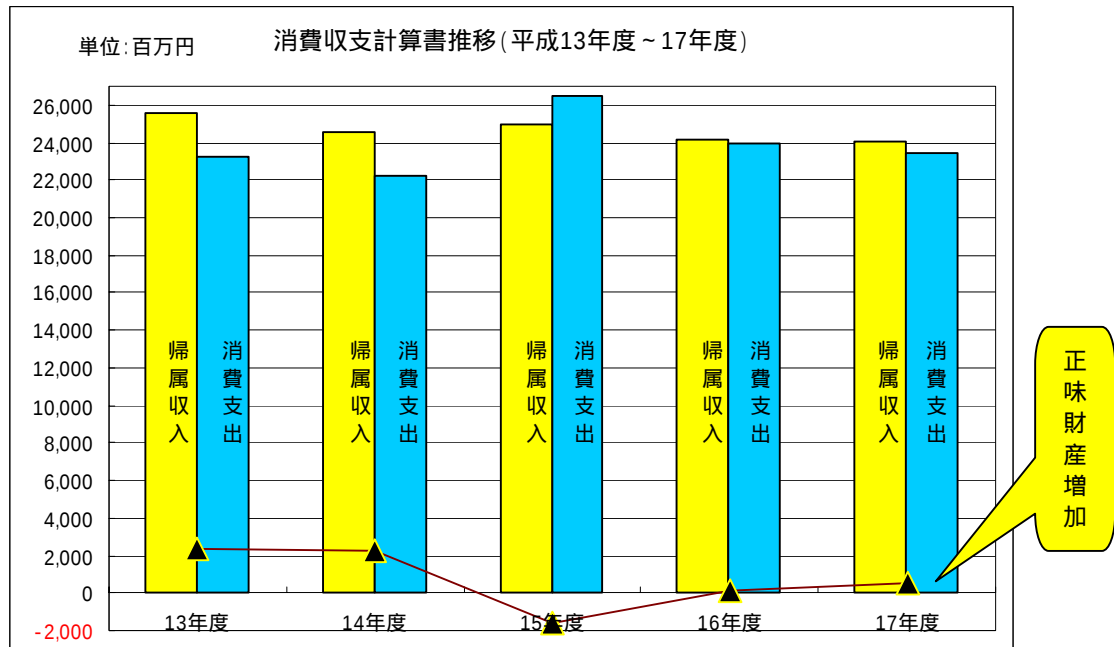


17年度末 負債内訳（負債総額 18,408百万円）



3. 財務の概要の経年比較（過去5年間）

平成13年度～17年度における消費収支計算書及び貸借対照表の概要は下記グラフのとおり。



注 ; 15 年度から退職給与引当率を要支給額を従前の 50 % から 100 % に変更したことにより正味財産が 14 年度より減少した。

4. 主な施設設備の整備状況

平成17年度において、施設設備の整備を下記のとおり実施しました。

1) 病院新館と本館の連絡廊下新設整備

16年度から計画していた、患者様の利便性と医療の安全対策等を考慮し、工事を進めていた新館・本館間の連絡廊下が11月に完成しました。

2) 総合医学研究所等の移転改修整備

かねてから懸案事項であった、これまで各棟に分散していた総合医学研究所を病院新館完成に伴い、歯科口腔科外来診療部門・顎口腔機能病態学研究室に使用していた基礎研究棟2階を改装1棟に各部門研究室を集約整備し、研究環境の整備をしました。

さらに、総合医学研究所が使用していた臨床研究棟あとには、顎口腔機能病態学研究室・呼吸器病治療学などの臨床系研究室として整備し研究環境の整備を進めました。

3) 21世紀集学的医療センターの新設

集学的がん治療センター・生活習慣病センター・健康管理センター・リハビリテーションセンター・小児遺伝疾患ケアセンター・セカンドオピニオンセンターなどの施設整備を行い（病院2階）10月から診療開始しました。

4) 教育センターの新設整備

学生に、より効果的な教育を提供するシステム（電子シラバスなど）の確立を目指し、また、高学年生用電子カルテ演習室や教員研究室のセンターを病院本館3階に整備しました。

5) 基礎研究棟低層部外壁等の改修整備事業

開学以来未補修で外壁剥がれや、腐食等が激しかった基礎研究棟低層開及び公用車・送迎用バス車庫の外壁改修工事等を行い建物の耐久性を図りました。

6) 省エネルギー対策整備事業（熱・電設備関連機器のインバータ化）

本年度も引き続き基礎研究棟及び病院棟の吸収式冷凍機などのインバータ化を図り、省エネを進めました。これまで、数年にわたる省エネ改修の結果、電力消費量が昨年に比較して1,419千kWh（4.5%）使用量が減少しました。さらに、給水量においても4,606m³（0.9%）減少しました。

加えて、17年度は、当初から原油高が予想されたため4月から買電契約電力を増加変更を行ない、コジェネ発電を抑制し重油使用量の削減に努めた

結果、重油価格が約 40%上昇したにもかかわらず、16 年度と同様にコジェネ発電で需用電力に対応した場合に比較して約 5,000 万円の節約となりました。

7) 既設建築物の耐震調査の実施

耐震強度が今日話題となるなか、本学においても、昭和 56 年以前に建築された建物のうち、重要な建物についてコア抜きによる圧縮試験などを実施し、老朽化状況を調査しました。

調査結果では、緊急性を要する建物はありませんでしたが、今後調査結果の優先度評価に基づいて計画的に補強等を進めます。

8) 図書館書庫のアスベスト対策工事（文部科学省補助対象工事）

開架式書庫の天井に吹き付けられている石綿の飛散防止対策として、新たに天井を作る囲い込み工法による天井改修を实地し、安全対策をしました。

9) 病院情報システム及び病理科情報システムの更新整備

電子カルテ、オーダーリング関連の画像やデーターの高速化に対応するためインターフェスサーバ等の更新、また、病理診断の受付から診断結果の迅速化を図るため関連ソフトやサーバ機器の更新を实地しました。

10) 教育研究機器の整備・総合医学研究所機器整備及び病院医療機器の整備

DNA 解析シーケンサーや教育実習用パソコン、治療用結石破碎装置の更新など、教育研究・診療機器整備を文部科学省の補助金を受けながら総額約 6 億円に及ぶ整備を实地しました。

11) 病院 2 期工事の整備事業に着手

かねてから設計計画していた、中央放射線部、眼科、産科・婦人科及び耳鼻咽喉科、頭頸科の移転診療部門となる第 2 新館工事に平成 17 年 12 月に着工いたしました。（完成予定 18 年 12 月）

以 上